

くら・ぴあ通信

令和2年9月号（第25号）



社会福祉法人 ひとは福祉会

指定通所支援事業所

くらむぼん（0826）42-2188

ぴあ・くらぶ（0826）42-1144

日中は虫も鳴かない暑さが続いているが、いかがお過ごしでしょうか。

学校は短い夏休みが終わり、新学期を迎える。お迎えに行ったとき、グランドで遊んでいる子どもたちを見ると「元気だなあ」と思うと同時に、熱中症の心配をしてしまいます。まだまだ残暑厳しい日々が続きますが、体調に気を付けて、この暑さを乗り越えたいですね。

くらむぼんの日々

自由遊びの時間、いろんな遊びを行ったり来たりしている

1年生のY君。先日、同級生のR君が、ラキーで「ブルドーザー」に挑戦しているのを見て「僕も作りたい！」と言って見よう見まねで作り始めました。とは言っても、全部で300以上のパーツが必要な超大作で、完成させるにはかなり根気が必要です。

これまで、ブロックで車や飛行機などに挑戦しても、完成できたことがないY君。

案の定、作っている途中で「もうやめる…」と言い始めました。「せっかくここまで作ったから、最後まで作ろう。あと少しだよ。」と励ますと「わかった」と答えて再開。

スタッフに手伝ってもらいながら最後まであきらめずに作り続け、ついに完成！隣で作っていたR君と、2台のブルドーザーで一緒に遊んでいる姿を見て、思わず感動しました。

よほど達成感を味わったのか、一通り遊んだ後「もう一個作りたい！」と、再びパーツを集め始めたY君。おもちゃを通した小さな経験ですが、彼にとっては次につながる大きな経験になったようです。

活動の様子

くらむぼん

スクラッチアートにチャレンジしました。まずは市販のスクラッチブックで遊び、次にスクラッチ用紙にお絵かき。そして最終的には画用紙にクレパスで色を塗り、黒で塗りつぶすところから。「にじいろにしてみよう」「〇をいっぱいかこう」とそれぞれ考え、下地が完成。スクラッチする時には「ここはピンクだ！」「黄色がてきた！」と嬉しそうに絵を描いていました。段階的に取り入れることで楽しみ方がわかり、自由に考えることができました。



ぴあ・くらぶ

キッズは毎週木曜日に工作の活動をしています。8月の工作はスクラッチで花火を描きました。打ち上げ花火を描いているうちに…「カブトムシの形の花火あるかね？」「線香花火を描いてみよう」「吹き出し花火もやったことがあるんよ！」と、それぞれ考えて花火を描きました。

今年は花火大会も中止となっていましたが、ぴあ・くらぶの部屋には子どもたちの可愛い花火が打ちあがりました。

